

# ふれあい朝日

発行：湘南新聞販売株式会社/編集：「ふれあい朝日」編集部/〒253-0044茅ヶ崎市新栄町1-14/TEL0467-82-3618/FAX0467-84-0342/メール：fureai@asahi.email.ne.jp/URL=http://www.shonan-sh.jp/company/配布エリア：茅ヶ崎市(一部除く) 藤沢市(引地川以西) 綾瀬市(一部)

新聞に関するすべてのお問い合わせ・ご連絡は

**0120-033-084** 朝日新聞  
カスタマーセンター  
受付時間：5時～20時(日・祝17時迄)

新聞お休みお取り置きは

**無料 やすみん** が便利  
です!

パソコンから やすみん 湘南 検索

https://www.yasumin.com/shonan/

※通話料・通信料は発生します。

携帯電話から QRコードを読み込んでください。

※読み込めない場合は下記にアクセスしてください。

http://www.yasumin.com/shonan/mo



※通話料・通信料は発生します。

※読み込めない場合は下記にアクセスしてください。

http://www.yasumin.com/shonan/mo

作家の目から見た、もう1つの町の姿

## 読書で巡る

## 茅ヶ崎・藤沢

釣りのルポタージュや朝日新聞の特派員としてベトナムで従軍するなど世界中を飛び回り、体験を基にしたルポ、エッセイ、文学作品を残す。1974年、茅ヶ崎市東海岸南に仕事場兼住居を構え、58歳の若さで病没するまでここで暮らし、執筆に取り組んだ。同邸宅は開高健記念館として保存されている。



茅ヶ崎 開高健  
かこう たけし  
(1930～1986)

企画展「紙喰い虫・開高健」  
●2017年10月14日(土)～2018年3月31日(土)、10時～17時●金・土・日、祝日開館●茅ヶ崎市開高健記念館(茅ヶ崎駅よりコミュニティバス「開高健記念館」下車すぐ)●開高健が残した多くの蔵書、愛蔵品を展示し、読書遍歴をたどる●観覧料200円●同時開催「南湖」と高田賢安～東洋一のサナトリウムと茅ヶ崎(会場は同館隣「茅ヶ崎ゆかりの人物館」)開高健記念館との共通観覧料300円●☎0467-82-1111茅ヶ崎市文化生涯学習課文化推進担当。

「オッサン病にきくと宣伝されているあらゆるクソリをためてみたけれど、どれもこれも少しずつしか有効でないとわかったので茅ヶ崎市若松町12-1にある林水泳教室にかけこみ、タノムと陳情申上げた。」(「一年たつと……」開高健エッセイ選集 ああ。二十五年(開高健著 光文社刊)

茅ヶ崎 城山三郎  
しろやま さぶろう  
(1927～2007)

「湘南海岸のこの茅ヶ崎という町へ、ふとした縁で移り住んでから、三十年近くになるうとする。気候がよく、明るくおだやかな町のたたずまいに魅かれて、気がついてみたら、それだけの歳月が経っていた、という感じである。」(「黄金の海」『湘南海光る窓』(城山三郎著・文藝春秋刊)



経済小説の開拓者として知られ、伝記小説、ノンフィクション、翻訳、詩集など他分野でも多くの著作を手掛けた。1957年、生まれ育った愛知県から茅ヶ崎市に転居。茅ヶ崎駅前のマンション一室に仕事場を構え、海を望みながら執筆に励んだ。

## 義歯・歯周治療・保険診療中心 はじめ歯科医院

完全バリアフリー

●道路沿い1階・段差無し ●院内土足

火曜・土曜・祝日休診 ●予約無しでも診療可●

9時～13時、15時～18時半 ※日曜は17時迄



TEL0466-77-3359

茅ヶ崎市辻堂新町1-4-8-1F  
はじめ歯科 辻堂 検索

そのほかの  
ゆかりの作家たち

国木田独步

(くにぎだ・どつぽ)

1871～1908

小説家、詩人。茅ヶ崎にあった結核療養所「南湖院」に入院。療養生活を送りながら「竹の戸」(窮死)などいくつかの作品を執筆。死の前まで南湖院を舞台にした作品を構想していたという。

柳田國男

(やなぎだ・くにお)

1875～1962

民俗学者。茅ヶ崎に養父の別荘があった。烏帽子岩について、「元々は夫婦岩だったのではないか」と推察する文章を残している。

島尾敏雄

(しまお・としお)

1917～1986

小説家。1977～1983年、茅ヶ崎市東海岸に在住。その間に心を病んだ妻との生活を記録した自伝的小説「死の棘」が、第29回読売文学賞と第10回日本文学大賞を受賞。

内藤千代子

(ないとう・ちよこ)

1893～1925

女流作家。幼少期から鶴沼に在住し、生涯を過ごす。「生い立ちの記」の中で、少女時代の思い出として板子による波乗りの魅力を書いている。

だるまちゃんとおそぼ!  
かこさとし作品展

●2017年11月14日(火)～12月10日(日)、10時～19時●「藤沢市民ギャラリー」(藤沢駅直結・ルミネ6F)●「だるまちゃん」シリーズを中心に絵本原画(複製含む)約40点を展示●11/18(土)11時～13時、絵本おはなし会●入場無料●☎0466-30-1816藤沢市アートスペース。

©Kako Research Institute Ltd.1967

だるまちゃんとおそぼ!  
かこさとし作品展

●2017年11月14日(火)～12月10日(日)、10時～19時●「藤沢市民ギャラリー」(藤沢駅直結・ルミネ6F)●「だるまちゃん」シリーズを中心に絵本原画(複製含む)約40点を展示●11/18(土)11時～13時、絵本おはなし会●入場無料●☎0466-30-1816藤沢市アートスペース。

©Kako Research Institute Ltd.1967

藤沢 かこさとし

(かこさとし)

「だるまちゃん」からずのパンやさん」といったシリーズ絵本が600冊を超え、90歳を過ぎた現在も活発に創作活動を行っている。藤沢に40年以上在住。2016年に30周年を迎えた藤沢市総合市民図書館に直筆画を寄贈した。

「ある秋の午ごろ、僕は東京から遊びに来た大学生のK君と一しよに蜷気楼を見に出かけて行った。鶴沼の海岸に蜷気楼の見えることはたれでももう知っているであろう。」

「僕は引地川の橋を渡り、東家の土手の外を歩いて行った。松は皆いつか起こり出した風にこうこうと梢を鳴らしていた。」(蜷気楼)『河童他二篇』(芥川龍之介著 岩波書店刊)

芥川龍之介

(かみかわりゅうけい)

1926年2月、藤沢市鶴沼にあった旅館・東屋に部屋を借り、妻とともに滞在。鶴沼の光景が描写された短編「蜷気楼」は芥川が斎藤茂吉に宛てた手紙の中で「多少の自信有之これあり候」と記している。

藤沢 芥川龍之介

(かみかわりゅうけい)

1926年2月、藤沢市鶴沼にあった旅館・東屋に部屋を借り、妻とともに滞在。鶴沼の光景が描写された短編「蜷気楼」は芥川が斎藤茂吉に宛てた手紙の中で「多少の自信有之これあり候」と記している。

「B大学日比野音響研究所に、『C市内で変な音がしている』と訴えた人があり、同研究所員が十日夜、C市内を調査したところ、市内全域にわたってかすかな音がしていることがわかった。『ツイス』(広瀬正著 河出書房新社刊)

広瀬正

(ひろせ ただし)

1924～1972

SF作家。3度直木賞の候補となったが、いずれも受賞には至らなかった。生前は茅ヶ崎市中海岸に在住。騒音が都心を襲うSF作品『ツイス』で起こる事の発端は「神奈川県C市」。

茅ヶ崎 広瀬正

(ひろせ ただし)

1924～1972

SF作家。3度直木賞の候補となったが、いずれも受賞には至らなかった。生前は茅ヶ崎市中海岸に在住。騒音が都心を襲うSF作品『ツイス』で起こる事の発端は「神奈川県C市」。

阿部昭

(あべ あきら)

1934～1989

父の仕事を継ぎ、1歳の時に父の仕事で鶴沼へ。その後生涯を湘南で過ごす。「内向の世代」と呼ばれた作家の1人で、旧軍人の父を始め周囲の人物を描いた小説が多く、その背景には湘南が多く登場する。

「このあたりは、昔、くぐりぬめ、と言ったらしい。くぐり、すなわち鶴で、白鳥のことだそう。物の本によると、白鳥は、ヤマトタケルの昔には、他界の魂を運んでくる鳥、また、霊の鳥として、あの世へ魂を持ち去る鳥、といわれていた。」(沼)『千年・あの夏』(阿部昭著 講談社刊)

※現在在庫切れ。重版未定。

阿部昭

(あべ あきら)

1934～1989

父の仕事を継ぎ、1歳の時に父の仕事で鶴沼へ。その後生涯を湘南で過ごす。「内向の世代」と呼ばれた作家の1人で、旧軍人の父を始め周囲の人物を描いた小説が多く、その背景には湘南が多く登場する。

中里恒子

(なかざと つねこ)

1909～1987

藤沢市生まれ。川端康成に師事し、少女小説「乙女の港」を共作した。1939年に兄たちの国際結婚を描いた「乗合馬車」で女性初の芥川賞を受賞。

「渚で海草の実をピシッピシンといい気持ちそうに踏みつぶしていた安子が向うをさして、『地曳きがあるのじゃあないの。』

『ああ、そうらしいわ。』(「生きる土地」)『中里恒子全集 第2巻』(中央公論社刊)収録

茅ヶ崎市中海岸に在住。昆虫をテーマにした絵本多数。『海沿いのこの地で、尋常じゃないほど豊かな少年時代を過ごした』(福音館書店刊)絵本作家の阿部昭(エ)という。

茅ヶ崎市中海岸に在住。昆虫をテーマにした絵本多数。『海沿いのこの地で、尋常じゃないほど豊かな少年時代を過ごした』(福音館書店刊)絵本作家の阿部昭(エ)という。

「1950年代ぐらいまで日本の各地でこのトンボを捕まえる時に唄う歌がいくつも残されています。わたしが住んでいた湘南地方では『オンジョック オンジョック オイラノ メンジョール』という歌でした。」(あとがき)『新版 とんぼ ぎんやんまの一生』(得田之久著・福音館書店刊)

得田之久

(うけだ ゆきひさ)

1940～

「1950年代ぐらいまで日本の各地でこのトンボを捕まえる時に唄う歌がいくつも残されています。わたしが住んでいた湘南地方では『オンジョック オンジョック オイラノ メンジョール』という歌でした。」(あとがき)『新版 とんぼ ぎんやんまの一生』(得田之久著・福音館書店刊)

茅ヶ崎 得田之久

(うけだ ゆきひさ)

1940～

「1950年代ぐらいまで日本の各地でこのトンボを捕まえる時に唄う歌がいくつも残されています。わたしが住んでいた湘南地方では『オンジョック オンジョック オイラノ メンジョール』という歌でした。」(あとがき)『新版 とんぼ ぎんやんまの一生』(得田之久著・福音館書店刊)

## ふれあいプレゼント

応募締切  
11/7(火) 必着

【応募方法】ハガキに●ご希望の商品番号・商品名●お名前●ご住所●お電話番号●紙面に対するご意見・ご要望を明記し、左下の応募券を貼って下記宛先までご応募ください。

ご応募は各号1世帯1回のみ。※応募券のないものは抽選対象外となりますのでご注意ください。※当選は発送をもって代えさせていただきます。※試写会ご招待券は、到着が開催日直前になる場合がございます。予めご了承ください。

〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町1-14 ふれあい朝日編集部

HP http://www.shonan-sh.jp/company/

アクセス▶「ふれあいPresent応募はこちら」ボタンをクリック

▶必要事項明記▶確認

352号応募データ

応募総数243名!

1 ティファール 圧力鍋 56通(1名)

2 109シネマズ湘南平日映画鑑賞券 40通(1名)

3 シネプレックス平塚映画鑑賞券 38通(1名)

4 ティファール 圧力鍋 56倍(1名)

5 109シネマズ湘南平日映画鑑賞券 8倍(1名)

6 スボラでも大丈夫! 書き込み式一生役立つ お金のキホン 5.33倍(1名)

ふれあいプレゼント

353 応募券

## 1 プレミアム会員様 限定プレゼント

象印マホービン  
電気ケトル 0.8L  
メタリックブラウン CK-AW08-TM

## 2 パリ♡グラフィック

5組10名様

ロートレックとアートになった版画・ポスター展 ご招待券

平成29年10月18日(水)～平成30年1月8日(月・祝)。詳細3面。

## 3 国立新美術館開館10周年 新海誠展

5組10名様

「はしのこえ」から「君の名は。」まで ご観覧券

平成29年11月11日(土)～12月18日(月)。詳細3面。

## 4 湘南とうきゅうパウル

10組40名様

2ゲーム以上で1ゲーム無料券(×4枚)

平成29年12月31日(日)迄有効(貸税別途320円)。

LINEでお得情報配信中! (「湘南 ポウリング」で検索)

## 5 とことこ湘南イメージキャラクター 「クック」オリジナルてぬぐい

10名様

サイズ:長辺90cm×短辺34cm



■サイズ(約):幅23cm×奥行14.5cm×高さ22.5cm(電源プレート含む)■重さ(約):1kg■消費電力(沸騰かし時):1,300w■コード:1.5m■1時間あったか保温機能付き

## 2名様

## 6 イオンシネマ茅ヶ崎 映画鑑賞券

5名様

平成30年1月31日(水)迄有効。作品によってご利用できない場合有。ネットでの座席予約にも対応しています。※ペアチケットではありません。

## 7 シネプレックス平塚 映画鑑賞券

10名様

平成30年1月31日(水)迄有効。作品によってご利用できない場合有。※ペアチケットではありません。

## 8 109シネマズ湘南 平日映画鑑賞券

5名様

平成29年12月1日(金)～平成30年1月31日(水)迄有効。作品によってご利用できない場合有。

※ペアチケットではありません。

## 9 109シネマズ湘南 「DESTINY 鎌倉ものがたり」試写会ご招待券

5組10名様

平成29年11月28日(火)、18時半開映。鎌倉を舞台に繰り広げられるファンタジードラマ。

©2017「DESTINY 鎌倉ものがたり」製作委員会